

「中小企業地域資源活用プログラム」の創設

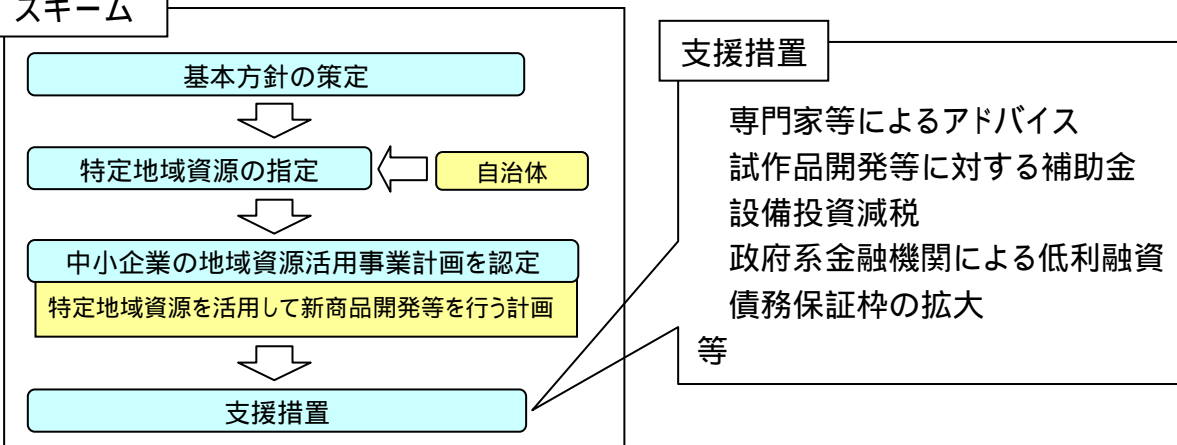
各地域の「強み」である地域資源(産地の技術、地域の農林水産品、伝統文化等)を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援。5年間で1,000の新事業創出を目指す。(「経済成長戦略大綱」、「骨太の方針」)

ポイント

地域の「強み」となる地域資源を、地域主導で掘り起こす取組を支援
マーケティング、ブランド戦略に精通した人材・仕掛人
産学官連携、農工連携など、従来の垣根を超えて、地域の力を結集
首都圏など大都市、更には海外市場を視野に

1. 中小企業地域資源活用促進法(仮称)に基づく支援
(地域産業発展の核となり得る先進的な取組に対する支援)

スキーム



2. その他の支援 (地域資源を活用した新たな取組を掘り起こすための支援等)

地域中小企業と外部人材とのネットワーク構築活動に対する支援
地域資源を活用するための大学等と連携した研究開発に対する支援
(独)中小機構による商談会の開催やアンテナショップの開設

地域資源を活用した取組の3類型

< 産地技術型 >

(有)竹田ブラシ製作所(広島県熊野町)

・和筆の技術を活用した化粧筆に関し、国内外のトップメイクアップアーティストに使われるなど、自社ブランドの確立に成功。



成功のポイント

マーケティング専門のアドバイザーの徹底した支援

< 農林水産型 >

井原水産(株)(北海道留萌市)

・コラーゲンを鮭の皮から抽出・精製する技術を実用化し、化粧品、食品、試薬品等向けに加工販売。



成功のポイント

大学や公設試との連携により、鮭皮からコラーゲンを抽出する技術を確立

< 観光型 >

もえぎかい
(株)龍氣、医療法人社団 萌氣会(新潟県南魚沼市)

・温泉宿(株)龍氣)、医療法人(萌氣会)が、地酒の製造・販売を行っている(株)八海山と連携。
・魚沼の自然、伝統的食文化や温泉を活用して、メンタルヘルスを重視した独自の健康プログラムの事業化。



ポイント

新たな連携により、これまで見過ごされていた地域の良さを引き出した

中小企業の地域資源を活用した事業展開の支援に関する関係省連絡会議

構成メンバー

- ・総務省 大臣官房総括審議官
- ・文部科学省 大臣官房総括審議官
- ・厚生労働省 医政局長
- ・農林水産省 総合食料局長
- ・経済産業省 中小企業庁長官、地域経済産業審議官
- ・国土交通省 総合観光政策審議官、総合政策局長

スケジュール

(平成18年)

- ・10月26日 第1回関係省連絡会議
- ・11月20日 第2回関係省連絡会議
連携方策中間とりまとめ
- ・12月下旬 第3回関係省連絡会議
連携方策最終とりまとめ

具体的な連携方策(中間とりまとめ)

(各分野横断的な対策)

マーケティング人材、仕掛人のネットワーク化(観光カリスマ等)
地方ブロック、地域レベルでの連携
研究開発に係る産学官連携の促進
支援対象の追加(農業法人、旅館組合など)

(食品産業分野)

食品流通構造改善促進機構も支援に協力
食料産業クラスター展開事業の加速化(全国市場展開)

(観光分野)

国際観光振興機構も支援に協力
観光関係団体(観光まちづくり、ビジットジャパンキャンペーン、
ニューツーリズム促進等)との連携

魅力ある物産の開発・販売や、エコツアー、健康・体験型観光等
新しい観光サービスを行う中小企業を強力に支援

(医薬品等分野)

医薬品規制等に係る相談窓口の設置

(建設分野)

地域資源を活用した建設業の新分野進出の促進 等